

ST-5
#19.69

Birth Racing Project

Press release - 2015. 10.24-25



Race Report



Super Taikyu 2015 Series Round-6 / Suzuka

(2015.10.24-25)

ST-5
#19.69

Birth Racing Project

Press release - 2015. 10.24-25



BRP★J' SRACING 2台のフィットは、最終戦の鈴鹿を69号車がクラス優勝、19号車は金曜日のフリー走行でのクラッシュから復活して4位でレースを終える。

BRP★J' SRACINGは2015年10月24日～25日に鈴鹿サーキットで開催された「スーパー耐久シリーズ第6戦 鈴鹿」において、69号車がクラス1位、そして19号車が金曜日のフリー走行による130Rでの単独全損クラッシュから見事修復して、クラス4位でレースを終え、年間シリーズタイトルは69号車がシリーズチャンピオンを飾り、19号車はシリーズ3位を獲得して、年間シリーズにおいても2台共に表彰台を獲得しました。

【10月23日(金)公式フリー】天候:晴れ 路面:DRY

全戦第5戦岡山において、他車のクラッシュに巻き込まれてクラッシュしリタイヤとなった19号車は、修復できるレベルの損傷では無い全損となり、鈴鹿戦までに新しい車両の準備が間に合わない為、急遽2013年にシリーズチャンピオンを獲得したフィット2(GE8)で鈴鹿戦に挑む事になりました。

フリー走行1本目で古宮選手のドライブ中に、130Rで単独クラッシュにて、フィット2も全損クラッシュとなり、スタッフ一丸となって翌日の予選に間に合わせるべく、修復作業を開始しました。

69号車は順調にセットアップメニューを消化して万全の体制で公式フリー走行を終えました。



ST-5
#19.69

Birth Racing Project

Press release - 2015. 10.24-25



【10月24日(土)公式予選】天候：晴れ 路面：DRY

快晴のちよいよ公式予選が始まりました。19号車は全損級のクラッシュから徹夜で修復作業を行い、同日AM6:00に修復作業を終え、ピットに戻ってきて無事に予選を走行する体制が整いました。しかし修復はやはり時間の関係で完全な物ではなく、パフォーマンスは著しく低下しており、まともにレースが戦える状態には無く、非常に厳しい状態で予選に挑む事になりました。Aドライバーの古宮選手がアタックを開始して2' 35.799クラス5番手で終え、続くBドライバーの奥村選手もホームコースの鈴鹿を果敢に攻め込み、2' 34.956を叩き出し、合算で予選クラス5番手のポジションを獲得する事ができました。69号車もAドライバーの大野選手からアタックを開始し、2' 30.723でコースレコードを記録しクラス1番手を獲得、続くBドライバー梅本選手も2' 33.386の好タイムでクラス2番手を獲得して、合算で見事ポールポジションを獲得しました。



【第6戦鈴鹿ST5クラス予選結果】

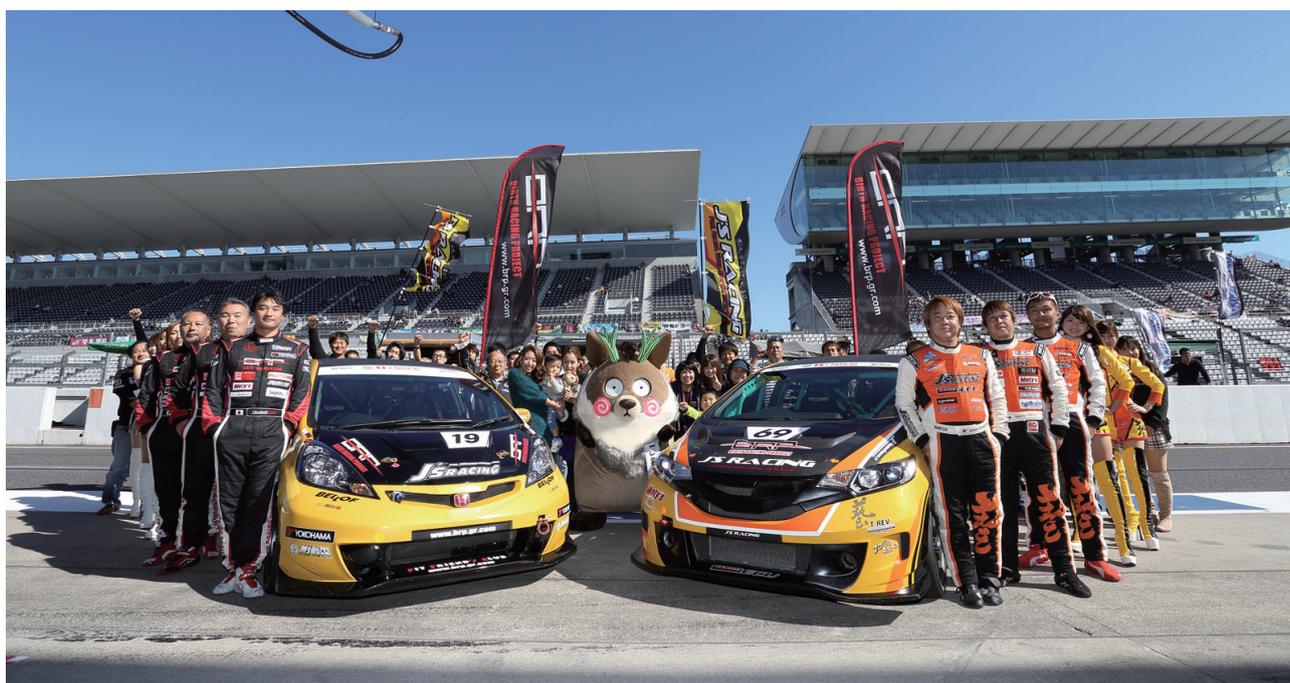
(19号車)

Aドライバー:古宮 正信	コース:ドライ	タイヤ:スリック	2' 35.799	クラス5位
Bドライバー:奥村 浩一	コース:ドライ	タイヤ:スリック	2' 34.956	クラス5位
Cドライバー:新垣 元	コース:ドライ	タイヤ:スリック	2' 39.928	クラス4位

(69号車)

Aドライバー:大野 尊久	コース:ドライ	タイヤ:スリック	2' 30.723	クラス1位
Bドライバー:梅本 淳一	コース:ドライ	タイヤ:スリック	2' 33.386	クラス2位
Cドライバー:赤星 陽太郎	コース:ドライ	タイヤ:スリック	2' 33.771	クラス1位

1位	No.69	BRP★J' SRACINGフィット3(GK5)	5' 04.109
2位	No.2	ホンダカーズ野崎with CUSCO&BOMEX FIR(GK5)	5' 05.131
3位	No.213	WAKO'S APP 菅野自動車 Vitz(NCP91)	5' 09.787
4位	No.71	ピースMS制動屋フィット2(GE8)	5' 09.935
5位	No.19	BRP★J' SRACINGフィット2(GE8)	5' 10.755
6位	No.17	DXLアラゴスタNOPROデミオSKY-D(DJ5FS)	5' 11.806
7位	No.33	東伸★RAYS★μ★WAKO' ★Vitz(NCP91)	5' 22.196



ST-5
#19.69

Birth Racing Project

Press release - 2015. 10.24-25



【10月25日(日)決勝】天候:晴れ 路面:DRY

いよいよ今年最後の3時間のレースが地元鈴鹿でスタートしました。BRPの2台のフィットは順調に周回を重ねますが、69号車はピットロードシグナル無視でペナルティストップ10秒のペナルティを受けますが、ライバルの2号車も接触トラブルやペナルティもあり、SCが何度も入る荒れたレースを無事に首位をキープしてクラス優勝で終わりました。19号車は完全では無い車両でありながらも粘り強く走行し、クラス4位でレースを終えました。

チームとしては、金曜日の19号車のクラッシュから見事復活して完走を果たし、19号車も年間シリーズタイトル3位を獲得し、69号車のシリーズチャンピオンと合わせて、2台とも年間タイトルにおいても表彰台を獲得する事ができました。

第6戦鈴鹿ST5クラス決勝レース結果】

1位	No.69	BRP★J' SRACINGフィット3(GK5)	3:03' 58.195
2位	No.2	ホンダカーズ野崎with CUSCO&BOMEX FIR(GK5)	3:01' 33.092
3位	No.17	DXLアラゴスタNOPROデミオSKY-D(DJ5FS)	3:01' 35.228
4位	No.19	BRP★J' SRACINGフィット2(GE8)	3:01' 35.242
5位	No.71	ピースMS制動屋フィット2(GE8)	3:03' 04.580

リタイア No.213 WAKO'S APP 菅野自動車 Vitz(NCP91)



【コメント】

チーム代表兼ドライバー：奥村浩一

既に前戦の岡山で年間シリーズチャンピオンを獲得した69号車と共に、同ポイントでライバルの2号車との争う年間シリーズタイトルの2位のポジションを争う19号車は、岡山戦での全損クラッシュにより、損傷がはげしく、修理で対応できるレベルでは無く、鈴鹿戦までに車両が間に合わず2013年のシリーズチャンピオンを獲得した、戦闘力が劣るフィット2(GE8)での参戦を余儀なくされましたが、そのGE8も金曜日のフリー走行1本目の130Rで全損級のクラッシュを起こし、予選はもとより決勝レースにもグリッドに並べる事が困難な状況に陥りました。しかしメカニックが全身全霊で修復作業に挑んで、徹夜で修復を完了して、翌日の予選に間に合うように車両を再び、私の手に戻してくれました。

しかし時間と部材の関係でやはり完全な修復は難しく、型遅れのマシンで戦う厳しい戦いに更に輪をかけて、クラッシュの影響によりパフォーマンスが発揮できないという、苦境に立たされましたが、普通のチームであれば、予選・決勝共にリタイアのレベルのクラッシュから、見事車両を修復して再びコースに戻したという、正に満身創痍の状態ではありませんでしたが、チームの総合力を見せつける事ができたと思います。徹夜で修復をしてくれたメカニックや関係者に対する感謝の気持ちを胸に、全力で走り切り完走してシリーズ3位を獲得しました。チームとして年間タイトルワンツースを狙って挑んだ2015年のS耐でしたが、チームを設立して3度のクラッシュと2戦リタイアという非常に厳しい状態に関わらずシリーズ3位を獲得できた事は、チーム代表としては過去に例の無いほどの感慨深いシーズンとなりました。

そしてなにより、どんなトラブルや課題に対しても全力で戦ってくれたチームスタッフ全員に感謝しております。また1年間チームを支えてくださったスポンサーの皆様とファンの皆さまのご支援・ご声援があって、この結果を残せたと思っております。この場を借りまして心よりお礼申し上げます。1年間ありがとうございました。

今季の悔しさと課題に正面から立ち向かい、更なる進化を目指して既にBRPは来季に向けて準備を開始しております。来季の体制については準備が整い次第発表させていただきます。

今後ともBRPのレース活動にご支援ご声援をお願いできればと思います。

何卒よろしくお願い致します。

ST-5
#19.69

Birth Racing Project

Press release - 2015. 10.24-25



2015年BRPスーパー耐久プロジェクトパートナー



順不同

プレスリリースに関するお問い合わせ先 : office@brp.gr.com



BIRTH RACING PROJECT
www.brp.gr.com